



生涯学習について



未来研
能勢

あきよし
秋吉

議員

問 生涯学習の施策はどうか。

答 教育長 次世代を担う子どもや青少年の育成を目的として、青少年健全育成研修事業、少年海外派遣支援事業、スリランカ青少年派遣事業、青少年育成市民会議支援事業、青少年相談員連絡協議会支援事業、子ども会育成連絡協議会支援事業、ジュニアリーダー

ズクラブ支援事業等を実施しています。

問 地域の担い手、リーダーの育成等の取組はどうか。

答 教育部長 子ども会のリーダーとして必要な知識や技能を学ぶための研修等への参加を行い、リーダーとしての担い手育成に努めています。

問 合併する時点で、特に生涯学習活動について、サービスは厚く、負担は少ないことが基本であったと思うがどうか。

答 教育部長 合併時の協定の内容に基づき、施設によりばらつきのある使用料の減免規定の統一を、激変緩和のための経過措置を設け、実施しました。結果とし

て、社会教育団体の活動であっても、一部使用料の負担がありますが、生涯学習活動が充実されるよう、支援していきたいと考えます。

問 市子ども会育成連絡協議会は、どのような事業を実施しているか。

答 教育部長 地区子ども会相互の連絡調整の強化や充実を図るための事業として、平成28年度は子ども会交流会や子ども会まつりを開催し、各90名程の参加がありました。

問 市子ども会の数と傾向はどうか。

答 教育部長 市で把握している、市子ども会育成連絡協議会に入っている単位子ども会の数は、平成28年度、35団体で、717人です。子どもの数の減少から、活動を休止する団体が増加しています。

問 地区の子ども会の活動はどうか。

答 教育部長 お楽しみ会等の親睦会をはじめ、市民体育祭等の市

行事や、地区施設の草刈り、廃品回収等を行っているようです。

問 地区の子ども会では、お楽しみ会事業等、会員一同での県内、県外への移動には、民間業者からバス等を借り上げていると聞くが、市有バスを利用してはどうか。

答 教育部長 市が保有するバスの使用については、国土交通省千葉運輸支局の指導を参考に、山武市有バス使用に関する規則を策定し、使用の範囲を定めており、任意団体である地区の子ども会が、お楽しみ会等のレクリエーションのために市バスを利用することはできない状態です。

問 バス借り上げ料の補助について検討してはどうか。

答 教育長 客観的に公益上の必要性について考慮しなければならぬため、現時点において地区の子ども会に対するバスの借り上げへの補助は、大変難しいと考えています。

防犯対策の充実について

問 どのような防犯対策を実施しているか。

答 市民部長 防犯協会や防犯パトロール隊による青色回転灯装着車での市内全域の防犯パトロールや、ボランティアの方々による小中学生の登下校の見守り活動、子ども110番の家の設置、防犯カメラの設置、LED防犯灯整備事業及び不審者情報等のメール配信事業等を行っています。

問 防犯ボックスの設置はどうか。

答 市民部長 設置場所の選定や管理運用基準、運営の費用、導入効果等の課題について、検討を進めているところです。

問 ドライブレコーダーの設置はどうか。

答 市長 犯罪に対して有効であると言われており、前向きに考えているところです。

問 市で設置している防犯カメラは何台か。また、設置場所はどこか。

答 市民部長 全体で105台設置してい



成東駅駐輪場の防犯カメラ